

「無所属の会」板橋区議会議員



# しいなひろみ 楽しいな通信

ご報告枚数  
**119,400**枚  
前号までにお届けした枚数です

2019年4月の選挙で3,086名もの皆さまからご支援を頂き、議員としての活動をスタートしました。何もかもが初めての経験で、議会用語や仕組みを理解し日々の流れについていく無我夢中の一年でした。これからも、介護の現場に居た時からの私のモットーであります現場第一主義を決して忘れることなく、地域の一人一人の皆さまに寄り添える議員として、精進してまいります。引き続きのご指導を宜しくお願い申し上げます。

## 原点に戻る

皆さまに約束した公約が少しずつ実現しています！

- 就学前(保育園)、小学校(低学年学童あいキッズ)等で馴染めない子どものための居場所づくりとサポート体制強化

予算総括質問(令和2年3月)で提言

あいキッズに通う子どもたちが安心して過ごせる教室環境を整えられるよう提言し、地域教育力担当部長より、「運用面での工夫を図り、理想的な環境に近づくよう努める。」との答弁を頂きました。

- 地域と子どもがつながる「子ども食堂」の増設

2018年度末	16か所
2019年度末	21か所
2020年度4月末現在	22か所

- こども虐待の早期発見と対応

- 虐待に関する研修に積極的に参加し学びを深めました。
- 2022年(仮称)子ども家庭総合支援センターが開設予定(児童相談所・一時保護所含む)

## しいなひろみの3つの基本政策

- 子どもたちへの取り組み**
  - 就学前(保育園)、小学生(低学年学童あいキッズ)などで、馴染めない子どものための居場所づくりとサポート体制強化
  - 地域と子どもがつながる「子ども食堂」の増設
  - 許認可保育園の日曜・祝日対応の実現
  - 子ども虐待の早期発見と対応
- シニアと子どもたちの縁側の交流**
  - ふだんからの地域交流を重視するとともに、シニアによる「子どもお出かけ見守り隊」の設立。
- 質の高い介護サービスの提供**
  - 介護予防の充実
  - 家族介護者のために24時間いつでもつながる「あんしん電話」サービスの実現
  - 介護人材の育成支援策の拡充



立候補時の選挙公報から抜粋

- 家族介護者のために24時間いつでもつながる「あんしん電話」サービスの実現

予算総括質問(令和2年3月)で提言

健康生きがい部長より、「24時間緊急連絡がつながることが重要であると認識している。特に夜間、休日の連絡先については、19の地域包括支援センターの連絡経路、その状況も含め行いたい。」との答弁を頂きました。

- 介護人材の育成支援策の拡充

予算総括質問(令和2年3月)で提言

令和2年4月より介護初任者研修受講者への助成金制度開始に伴い、介護福祉士実務者研修受講者への助成金導入を提言し、健康生きがい部長より、「既に介護施設や事業所に従事している職員の資質を高めるような支援についても検討していきたい。」と答弁を頂きました。

## しいなが提言し実現したこと

- 令和元年6月の一般質問で提言した案件が実現！  
夜間対応型介護事業所の新規整備について提言した案件が早速実現しました。令和元年11月から区内の事業者が夜間対応型訪問介護を運営することになりました。このサービスは今まで本区にはなく豊島区の事業が対応していました。夜間の介護は「介護うつ」等、家族の体調悪化の要因にもなります。専門職にボタンタッチできれば介護負担の軽減にもつながります。

- 令和元年11月の一般質問で提言した案件が実現！  
ペーパーレス化が進んでいますが、スマホやパソコンの操作に慣れない高齢者には、紙の情報媒体による伝達は大変重要です。「訪問介護でできるサービスの詳しい案内」を作成し、介護保険の郵送時に同封することが実現しました。在宅介護重視の流れの中で、ヘルパーが自宅に出向く訪問介護サービスは、家族同居の有無などで使えるサービスや使えないサービスがあり、大変個別性が高いです。介護保険の冊子や案内にはもっと詳しい情報提供が必要です。

## しいなが提言し経過途中のもの

令和元年6月の一般質問で提言した案件の途中経過報告  
「板橋区高齢者紙おむつ等支給事業」は30年以上続くサービスで、年間1億6千万円の費用がかかっているにも関わらず、選べる種類も少ない状況で大変使い勝手が悪いです。他の22区はカタログから好きなメーカーを選べたり、使い捨てゴム手袋やお尻ふきもあり、バラエティに富んでいます。本区でも、もっと利用者が使いやすい内容への見直しを提言しましたが、令和2年3月に各利用者にアンケートを実施し、改善のための検討を始めているとの回答が、令和2年5月7日に長寿社会推進課長よりありました。

## 新型コロナウイルス関連への対応

区内の介護事業所にアンケート調査を実施し課題をまとめ、マスクや消毒液などの不足品や利用者の自主的なお休みによる売り上げ減少の詳細を整理し、区の介護保険課に伝えました。